



感染症対策と介護サービスの両立を目指して

1日1回の除菌作業で職員の作業負担を軽減する「Dr.CLEAN+ (ドクターフリー)」

新型コロナウイルス感染症の拡大により、重症化しやすい高齢の利用者が多く、人と人との触れ合いが避けられない介護現場では、感染症対策への業務面、精神面の負担が大きくなっている。介護現場で安心・安全なサービスの提供に尽力されている(株)グレートフル代表取締役の岩崎英治氏と、職員の除菌作業の負担軽減を目指した商品開発に携わるエステー(株)ビジネス開発事業部長の岡部豊氏に、感染症対策と安心・安全な介護サービス提供の両立について、それぞれの視点から語ってもらった。

(取材場所:株式会社グレートフル あしあとリハ与野)

大きな負担となっている 頻回の除菌作業

岩崎:こちらのデイサービスでは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言時において高齢者の一時的な利用控えがありました。今は稼働率が100%に近い状態に戻っています。除菌作業としては、送迎車のシートや、リハビリ機器、手すり、机などの清掃と除菌を朝・夕に行い、必要に応じて利用者様がいる時間も頻回除菌を行っています。特にリハビリ機器が複数台あるため、利用者様が使われるたびに除菌が必要になり、日に数十回除菌作業を行うこともあります。



岡部:頻回の除菌作業は、職員にとって大きな負担になりますね。

岩崎:そうですね。業務の中に、利用者様へのマスク着用の声掛けと頻回の除菌作業が加わるため、負担は大きいです。最近経営者として気になっているのが、施設に集団感染が発生した際の訴訟問題です。施設では行政からの通達を回覧したり、感染対策マニュアルを作成するなど、全員で取り組みを徹底するようにしています。訴訟リスク対策という意味で、感染症対策の重要性はますます上がっていくと思います。また、利用者様だけでなく職員も細菌やウイルスが怖いのは同じなので、厳しい状況で細心の注意を払いながら働いてくれている彼らの精神面も心配しています。これらはほかの介護施設、事業所でも抱えている問題だと思います。

1日1回の除菌作業で 効果が続く「Dr.CLEAN+」

岡部:除菌対策は業務面だけでなく、精神面の負担も大きいですね。介護現場で働いている多くの職員は、細菌やウイルスに

対する専門家でもないし知識も少ない。「除菌作業はこれぐらいで大丈夫かな」と不安を感じながら作業を続けていることが、大きなストレスになっていると思います。実は、一般的なアルコール除菌剤は即効性はありますが、すぐに蒸発するため再汚染されてしまうというのは意外と知られていません。「Dr.CLEAN+」は、富士フィルムの独自の「Hydro Ag+」の技術により、銀系抗菌剤を含有する超親水膜をコーティングすることで、1日1回のひとふきで除菌・ウイルス除去効果が持続するというのが最大の特長となっています。例えば、お出迎え前の朝の清掃時に使用して頂ければ、その後、表面を水拭きしても



コーティングは落ちず除菌・ウイルス効果が持続します。効率的に除菌作業を行うことで、職員の方々の作業負担が減り、これまでのように利用者様に寄り添ったサービスの提供に集中できるのではないかと思います。

岩崎: そうですね、朝、「Dr.CLEAN+」でリハビリ器具を除菌すれば、複数の利用者様が触れても1日中安心ですね。忙しい中で職員が器具をふき忘れる、また利用者様が手指消毒をし忘れるというリスクを考えずになります。送迎の車も日々の送迎を終えたら利用者様が触れる場所をひとつづいておけば、翌日はずっと安心です。おっしゃるとおり、余計な心配、作業が減ることで、それだけ本来の仕事に集中できるのではないかと思います。

岡部: さらに、「Dr.CLEAN+」と同じ場所に塗り重ねると、より強固で除菌力の高いコート膜が作られ、除菌効果が高まります。

岩崎: それはいいですね。ただ、1日1回で済むということで、利用者様が除菌作業をしているところを見なくなりますね。除菌する姿を見て安心するということもあるので、そこが気になります。

安全の可視化のために ステッカーなども用意

岡部: まさに除菌作業の可視化は安心感につながる大事な要素だと思います。私たちは商品を置くトレイや、「Dr.CLEAN+」で

除菌されているところに貼るステッカー等を製作しました。入り口や照明スイッチ等に貼り付けたり、これからは、施設がどんな商品を、どのように使って除菌作業をしているのかをホームページ等に明確に掲載することが必要ではないかと思います。

岩崎: ステッカーを目にするれば、利用する方は安心できますね。介護施設でも利用者様とそのご家族に、安心して利用いただけることをどう伝えるかは大きなテーマです。今、特に通所施設では、また来てもうために、日々、「行ってよかった」「ここなら安心だ」と思っていただくことが必要なのです。



これからの感染対策は 機能の高いもので効率よく

岡部: 「Dr.CLEAN+」はいろいろな場所に使っていただけますが、介護施設では不特定

多数が多く触れるリスクが高い、ドアノブや手すり、食事をともにするテーブル、車椅子などに使っていただくのもお勧めです。今後も感染対策は続していくと思われます。「Dr.CLEAN+」を使用いただくことで、日々の除菌作業を効率化して、少しでも職員の方々の負担軽減に貢献できれば大変嬉しいです。



岩崎: 除菌作業を効率化できれば、その時間を利用者様の満足度をあげることに使うことができ大変助かります。また、緊急事態宣言下ではデイサービスに来られず、足腰が弱った、健康に問題が出てしまったというケースもありました。そのような点からも、安心できる施設をご用意することは私たちの使命だと思います。

岡部: 感染症対策と介護サービスの両立が重要ですね。これからの中介施設にとっては、感染症対策と向き合いながら、利用者様へのサービスの質を落とさず、充実を図ることが必要ではないかと思います。

岩崎: そうですね、そのためにも、無理なく感染症対策ができ、施設に関わる人をまもってくれる「Dr.CLEAN+」に期待しています。

1日1回で持続する除菌効果 医療現場で使われる信頼と技術

Dr.CLEAN⁺

除菌・ウイルス除去スプレー

ドクタークリーン



「Dr.CLEAN+」はアルコール(62.9v/v%)で除菌した後、富士フィルム独自のHydro Ag⁺技術により、銀系抗菌剤を含有する超親水膜でコーティングされ、除菌・ウイルス除去効果が約1カ月持続。また、繰り返しの使用で「持続除菌」効果が高まります。

【販売に関するお問い合わせ先】
エステーPRO株式会社 TEL:03-3367-2083
受付時間 10:00~15:00
(昼12:00~13:00、土・日・祝日を除く)
※新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、当面の間、受付時間を短縮しております。

【商品に関するお問い合わせ先】
エステー株式会社
お客様相談室 ☎ 0120-145-230
受付時間 10:00~16:00(土・日・祝日を除く)
※新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、当面の間、受付時間を短縮しております。



Dr.CLEAN⁺
くわしくはこちら

